

一般質問の概要

平成24年第3回 二宮町議会定例会

9月20日(木) 午前9時30分～

※2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。

No	質問予定議員	質問概要
1	神保順子議員	<p>災害時における町の避難体制づくりと災害時要援護者支援対策を問う (放映件名：災害時の町の避難体制づくりと要援護者対策)</p> <p>①町地域防災計画に定めている地域住民の生命・身体・財産を災害から守るためには平常時から防災に対する体制を整備しておくことが重要と考える。先月8月26日に行われた町総合防災訓練ではこれまで行っていない訓練方式を取り入れたがその成果と課題について伺う。</p> <p>②東日本大震災後、町は地域防災計画の見直しを行い現在素案が出来上がっている。これまでの計画から大きく見直された点について伺う。また、災害時要援護者の避難支援のための全体計画および個別支援計画の策定状況について伺う。</p> <p>③平成20年12月議会での一般質問をふまえて災害時要援護者の避難支援に対する現在の実施状況と今後の具体的な対策について</p>
2	三橋智子議員	<p>通学路・安全対策の総合的取組について問う (放映件名：通学路の安全対策について)</p> <p>本年4月23日、京都府亀岡で発生した集団登校中の交通死亡事故が報道された後、各地で登下校中の児童が死傷する事故が立て続けに起こった。近年は交通事故者数の中で「歩行者」が占める割合が増加している。交通規則を守っていても、事故に巻き込まれるケースも増えており、通学路も危険との隣り合わせである実態が表面化した。</p> <p>その結果、5月30日には、文科省、国土交通省、警察庁から全国に通知が発せられ、すべての公立小学校で「緊急合同総点検」が実施されることとなった。それをふまえて以下の3点を質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 二宮町が行なった「緊急合同総点検」の経過と、その結果を問う 2. 教育委員会、都市整備課、防災安全課の3課の連携が必要であるが、今回の点検ではどう調整されたか。 3. 総点検で出された課題に対して、今後どのように対応されるのか
3	浅賀一伸議員	<p>神奈川臨調が画策している「市町村補助金等の削減計画」による影響と町の考えを問う (放映件名：神奈川臨調の計画に対する町の考えは)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 7月18日、神奈川県緊急財政対策本部調査会、いわゆる「神奈川臨調」は「神奈川における緊急財政対策に対する中間報告」を発表した。その主な内容は①県有施設については「原則全廃」の視点から見直し断行②県単独での補助金・負担金については「一時凍結」のうえ抜本的見直しを行うとしている。特に「昭和63年以前からのもの」と「少額のもの」については根拠なく必要性薄いと判断、原則廃止としている。この臨調の計画は大変横暴なものと考えているが、町長はどうお考えか。 2. 臨調を県が受け入れた場合、二宮町は悪影響を受けることになる。県単独の

		<p>二宮町への補助金には、重度障害者医療費給付補助事業補助金 3,800 万円、小児医療費助成事業補助金 2,360 万円、妊婦健康診査事業補助金 273 万円などがあるが、これらは総額でいくらになるか。また、町で継続困難になる事業は。</p> <p>3. 県単独の市町村補助金の約 71%は社会福祉部門となっている。にもかかわらず臨調は一部を廃止、一時凍結のうえ補助金の一括交付金化も提案している。</p> <p>このような神奈川臨調の在り方に、多くの市町村から困惑や批判の声が上がっている。この路線は撤回するよう県に強く求めるべきと考えるが町長の考えは。</p> <p>国保を改善し町民が安心して医療にかかれる町へ (放映件名：国保を改善し、誰もが医療にかかれる町へ)</p> <p>1. 二宮町では国保加入世帯の 1/5 が滞納していることや、資格証明書発行による無保険者が 100 世帯を超えるなど、深刻な事態となっている。「社会保障及び国民保健の向上」(国保法第 1 条)を目的とし、町民に医療を保障するための制度である国保が、逆に社会的弱者を医療から排除している。こんな事態は一刻も早く解消すべきと考えるが、町長の見解は。</p> <p>2. 二宮町では滞納が 1,080 世帯に上り、うち 117 で、1/9 世帯に資格証明書が発行され、医療給付が受けられない状態となっている。</p> <p>資格証発行はやめるべきと考えるが、町長の見解は。</p> <p>3. 国保行政は「自治事務」であり、国保税の引き下げは町独自に対応できるものである。国民皆保険として町民が納めやすくするために、基金や一般会計から繰り入れを活用して引き下げるべきと考えるが、町長の見解は。</p>
4	脇 正文 議員	<p>二宮町の災害対策は町民を守れるのか (放映件名：町の防災に対する施策について問う)</p> <p>二宮町ホームページ防災の欄は、日頃から町民に防災についての町の考えや施策を伝える大変重要なところである。そこで町の災害対策について説明を求める。</p> <p>1. 町の防災に対する施策に対して</p> <p>施設整備・防災訓練等の実施・防災思想普及啓発・参集場所(役場庁舎・二宮高校)</p> <p>災害時の応援協定(応急給水活動・応急物資、生活必需品調達)</p> <p>非常食 20560 食分の基準は何か。他の自治体と比べ人口に対する充足度は。通信設備(移動局として町庁用車 3 台とあるがその基準とこれが用をなせるか。)</p> <p>災害後、仮設住宅建設はどのようにされるのか、提携などは結ばれているか。6 月の二宮町防災会議では防災訓練計画について話し合いがされたのか確認だけか。</p> <p>2. 町民への情報伝達について</p> <p>①地震が発生しても警戒宣言が出なかったら町民はどう判断するのか。</p> <p>②災害発生時の行動で現在は身を守れが火を消せより先だが町民にどう伝えているか。</p> <p>③防災訓練時に、J - ALERT (全国瞬時警報システム) が時刻通りに流れなかった理由。</p> <p>④全国瞬時警報システムの頁に記載されている放送メッセージ文言と実際に流れる音声の違いは町民に戸惑いを招かないか。</p> <p>⑤町活性化、災害情報・緊急情報伝達に活用できるコミュニティ FM 局の開設の考えは</p> <p>⑥町内ワークショップ防災・安全グループの提案(素案)中「⑤防災活動の啓発に予測は 100%出来ていると言っても過言ではない」と記載があるが、誤解を招かないか。</p> <p>3. 防災と避難場所について</p> <p>①避難場所や避難拠点基地は、発災後の町民の安全を守れるのか。</p> <p>②神奈川県津波浸水予測図(素案)の信憑性はどのくらいか。</p>

5	根岸ゆき子 議員	<p>今後の福祉施策のあり方について (放映件名：今後の福祉施策のあり方について)</p> <p>1. 次期総合計画の中にも福祉の方向性が位置づけられてきた。 今後、ますますコミュニティ作りや災害時対応などにつながる福祉の日常的な充実が求められると考える。 町として地域福祉計画の作成に対する考えを問う。</p> <p>2. 町が障がい者の就労支援施策として位置づけて始めたともしびショップの持続可能なあり方を問う。</p>
---	-------------	---